

【テーマ】

日本人のDNAに刻まれているもの

「日本人としての役割を自覚する。」

それが生きる意味であり、未来への希望でもあります。

日本人の他者を思いやる心は現代の若者にも受け継がれ、海外からも称賛の声が届いています。
しかし一方で、その若者自身が己を卑下し、自国に対し否定的な意識を向けてしまっている…。
なぜ、未来に希望を抱けないのか？なぜ自分達を卑下してしまうのか？
それは、私たちが先人から受け取ってきたものが何かを知らないからです。

大切なものを受け取った。それを手渡すのがこの人生における役割である。
そんな自覚と未来への希望を、皆様と共有するセミナーです。

【こんな経営者におすすめ！】

❶「恩送りセミナー」を過去に受講いただいた方

“恩送り”は一度学んで終わるのではなく、日々の実践の中で深まり続けるものです。一度学んでみてどのような発見があったか、いまを更により良くするためにはどうしたら良いか。繰り返し学ぶことで、新たな発見に出会う機会となります。

❷ 人財を育てることに難しさを感じる

若者がすぐ辞めてしまう、理想の人財がなかなか育たない。
そんな困難を感じてはいませんか？
若者に“働く意義”を伝えるためにも、経営者と若手社員、共に「恩送り」を学び、互いに言葉を交わすところから始めてみませんか？

【こんな若手社員におすすめ！】

❶ 働く意義を見出せない

「どうして辛い思いをして働かなければいけないのか？」
そんな疑問を抱いてしまってはいませんか？
働く意義がわからず苦しんでいる方こそ、祖先の思いに触れ、日本人の誇りを知ることが必要なのではないでしょうか。

❷ 社会に暗い印象を抱いてしまい、未来に不安を感じている

不穏なニュースばかりが並び、未来に不安を感じてしまう。
それは、若手社員も、経営者も共有する不安です。
だからこそ、真の日本の姿を知り、日本人としてどう生きるべきか、進むべき未来、ベクトルを共に定める機会です。

恩送りとは？

今年の夏に公開した映画「あの星が降る丘で、君とまた出会いたい」。
公開 14 日間で観客動員数 100 万人を突破し、前作『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』を上回る結果となりました。
そんな映画のシーンの中で、“恩送り”という言葉が登場しています。
“恩返し”は、恩をくれた人に対して直接恩を返すこと。
対して“恩送り”は、貰った恩を“未来”に手渡すこと。
まだ見ぬ未来を生きる人たちが希望と誇りを持って生きていく為に、私たちが“今”をより良くし、“未来”に恩を繋いでいく…。
その価値に気づきつつある時代に入った今だからこそ、皆様へ“恩送り”の意志を伝えたいと考えています。



大ヒット作『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』の続編。託された想いを受け取り、未来へ進んでいくことの大切さを、特攻という史実を通して描かれ、若者から絶賛の声も聞こえています。

企業は最後の学校である―。
だから今、未来に種を蒔く。
それが、リーダーたる経営者の使命です。

私たちは、学校教育の中で、「日本は悪いことをした」と、当たり前の事実として教わってきました。
それは、やがて大人になった私たちの誇りや自尊心を奪ってしまった様に思います。

どんな歴史観を持っているかは個人の自由であり、歴史観を持っているということが大切です。
しかしこのままでは、私たちの子孫が歪められた歴史観の中で罪悪感を背負い、卑屈に生きていくことになります。
あなたは、そんな未来を望んでいますか？

地道な草の根運動かもしれませんが、今、未来へ種を蒔かない限り、未来、花が咲くことはありません。
正しい歴史を知り、言葉にすること。対話をすること。
決して本を読むだけでは蒔くことができない種があります。
リーダーとして、今、未来に種を蒔く言葉を持ちませんか？

先人から受け取ったもの。

誰かの為にと行動することのできる良知を、皆が身に付けた日本人の姿―。
それは今の私達が作り上げたものではなく、祖先が未来へと繋いでくれた、日本人の DNA に刻まれているものです。先人が築いてきた素晴らしい国の文化と日本人の特性、その上に、経営者の皆様が育まれている企業文化があります。祖先からの贈り物でもあり、私たちが守っていきたい思い。
それを未来へより良い形にして手渡すことが、恩送りです。



皆様へ伝えたいこと

For　若手社員

“なぜ働くのか？どう生きるのか？”歴史に学ぶ、働く意味。

「誰かの為の自分」

現代の若者に「なぜ働くのか？」と質問すると、「お金の為、生活の為」と答える人も多いです。
利己的な考え方ばかりが若者の間で蔓延している…そんな印象を感じてしまいがちですが、
「自分以外の誰かの喜びの為に」という日本人としての特性を、根本に宿しているはずです。

電車では降りる人を優先し、落とし物を見つけたら交番に届け、他者の為にと行動することのできる。
そんな良知を、日本人である私達は身につけています。
それが先人から手渡され、私達の DNA に刻まれている“日本人の特性”の正体です。
大切に繋がれてきた思いを、時代の激流に翻弄される中で見失いつつあることこそが、
働く意義を見出せず、未来に絶望してしまう一因なのではないでしょうか。

なぜ懸命に働くのか。生きる喜びがどこにあるのか。
それを探し出す為にも、歴史に学び、日本人としての真の姿を知ってもらいたいと考えています。

For　経営者

未来に希望を抱く為の機会を創る。

「最後の学校である企業の役割」

今を生きる若者の多くは、日本の未来に対して大きな不安感を抱いてしまっています。
日本の歴史教育や長引く経済の低迷と物価高、人口減など、不穏なニュースばかりが聞こえる今、
壁を乗り越える為に必要なのは希望を抱くことです。

私たちが過去から手渡されたものが、どれほど尊く、温かいものだったのか。
先人達の、どんな想いの積み重ねの果てに“今”が在るのか。
それを知ることができれば、今を「どうでもいい」なんて思うことは、誰にもできないはずです。
手渡された恩をより良い形にし、未来へと手渡し、その先で更により良いものになっていく。
そんな未来を思い描きながら“今”を過ごすことは、時代に翻弄されてしまっている若者にとって
確かな希望になります。
多くの人が進む方向を見失い、自信を無くしてしまいがちな今だからこそ、
未来に希望を抱く為の機会を創る。それが、最後の学校である企業の役割だと考えています。

経営者と若手社員が共に受講する意味



昨年度に開催いたしました「第３回 恩送りセミナー」では、
多くの経営者・若手社員の方々がご一緒に会場へ足を運ばれ、
セミナーを受講している様子が見られました。

「若者に言葉を伝えたい」、そう願っていても、想いを届ける
ことに難しさを感じている経営者の方は多いと思います。
だからこそ、経営者と若手社員が一緒に受講することに、
大きな意味があるのではないでしょうか？

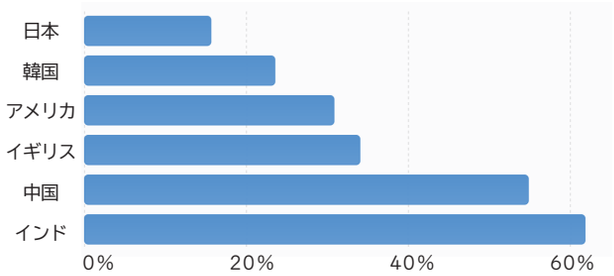
セミナーを受けてどんなことを感じたか、受講したその日に
共有し合うところから“恩送り”を始めてみませんか？

国の将来や未来に対する意識
日本の若者が最下位

「日本財団18歳意識調査結果 第78回」にて日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インドの若者各1000人(17～19歳)に対し「国や社会に対する意識」というテーマで調査したところ「自分の国の将来は良くなる」と回答した若者は全体の15.6%と、6ケ国の中でも最下位でした。

国の将来や自分の未来に対し、ネガティブな印象を抱いている若者の割合が大半を占める結果となっています。

「自分の国の将来は良くなる」と回答した17～19歳の割合（2026年）



今まで恩送りセミナーをご受講下さった方から、こんなご感想をいただいています！

50代 男性 経営者

歴史の裏には知らなかった真実があると、強く感じました。恩送り、今をより良くして未来へと手渡すためには伝えるということから逃げてはいけないと思います。日本人として、経営者として、これからすべきことが明確になりました。

多くの若者は失敗を恐れて挑戦できない人が多いと思います。でも、失敗を恐れない先人たちのことを知り、挑戦する大切さを学びました。

20代女性 幼稚園業界

20代男性 通信・情報サービス業

セミナーを受講するまで、日本に対して何の感情も抱いていませんでした。今の日本が、なぜ世界から愛され、信頼される国となったのか。その背景を知り、日本人として、私たちの国に誇りを持つことができました。

昨年いただいたお声からも“恩送り”の精神は日本人として大切に育んできた心を知る上で、必ず人の心に届くメッセージになるという確信を持つことができました。今年も若者が自ら歩み、未来に誇りと希望を持つためのひとときを届けてまいります。

会場受講

＜会員様ご料金＞

55,000円/人(税込)

※S・Yサークル、月刊オーディオサクセスエールの会員様を指します。

＜非会員様ご料金＞

65,000円/人(税込)

＜1997年以降お生まれの方＞

5,500円/人(税込)

※上記いずれかにお申込いただいている場合に適用されます。

映像受講

＜一社あたりご料金＞

99,000円(税込)

※DVDをご希望の場合、作成手数料として追加で¥2,200(税込)を頂戴いたします。ご了承下さい。

■お申込み方法

・同封しております申込用紙に、必要事項をご記入の上、FAXまたはお電話よりお申込み下さい。
また、お申込後のキャンセルは、開催前日までにお申し出ください。

※申込み後にキャンセルがある場合、11月17日まではご参加費用の50%、18日以降のキャンセル・並びに欠席は参加費用の100%をキャンセル料として申し受けますのでご了承下さい。

・会場受講と映像受講をお選び頂けます。尚、会場の座席数には限りがございます。定員に達した場合、映像での受講をお願いいたします。

SYW 人財創造経営コンサルティング

宮城県仙台市青葉区一番町1-2-25　仙台NSビル8階
TEL：022-722-2007　FAX：022-722-1770
担当：島田・松橋・東海　　HP：https://syw.jp